

第31回定時株主総会

平成28年9月27日



プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

本日のご説明内容

1. 事業報告及び事業方針

PSSの対処すべき経営課題

第31期業績と第32期見通し

中期事業計画

2. 報告事項(計算書類)

3. 決議事項

第31期(H28/6)期 (親会社株主帰属) 当期純損失1,582百万円について

<p>特別損失 908百万円</p>	<p>▶ 減損損失の計上 大手OEM先の一部において、販売計画が大幅な延期、再開の時期が不透明になり事業計画の見直し</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>当社グループが保有する固定資産(土地、建物、生産設備など)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失908百万円を特別損失に計上。</p>
<p>他要因 673百万円</p>	<p>▶ 対前期比減収減益 前期のような増収要因(特需、開発売上、手数料収入)がなく、販売管理費は前期並みに推移</p> <p>▶ 為替差損 円高による影響により為替差損90百万円が発生</p>

1. 事業報告及び事業方針 PSS の対処すべき経営課題 (お手もとの招集ご通知 8~9ページ)

DNA自動抽出機器がPSSのスタート (2001年株式公開後の事業展開)

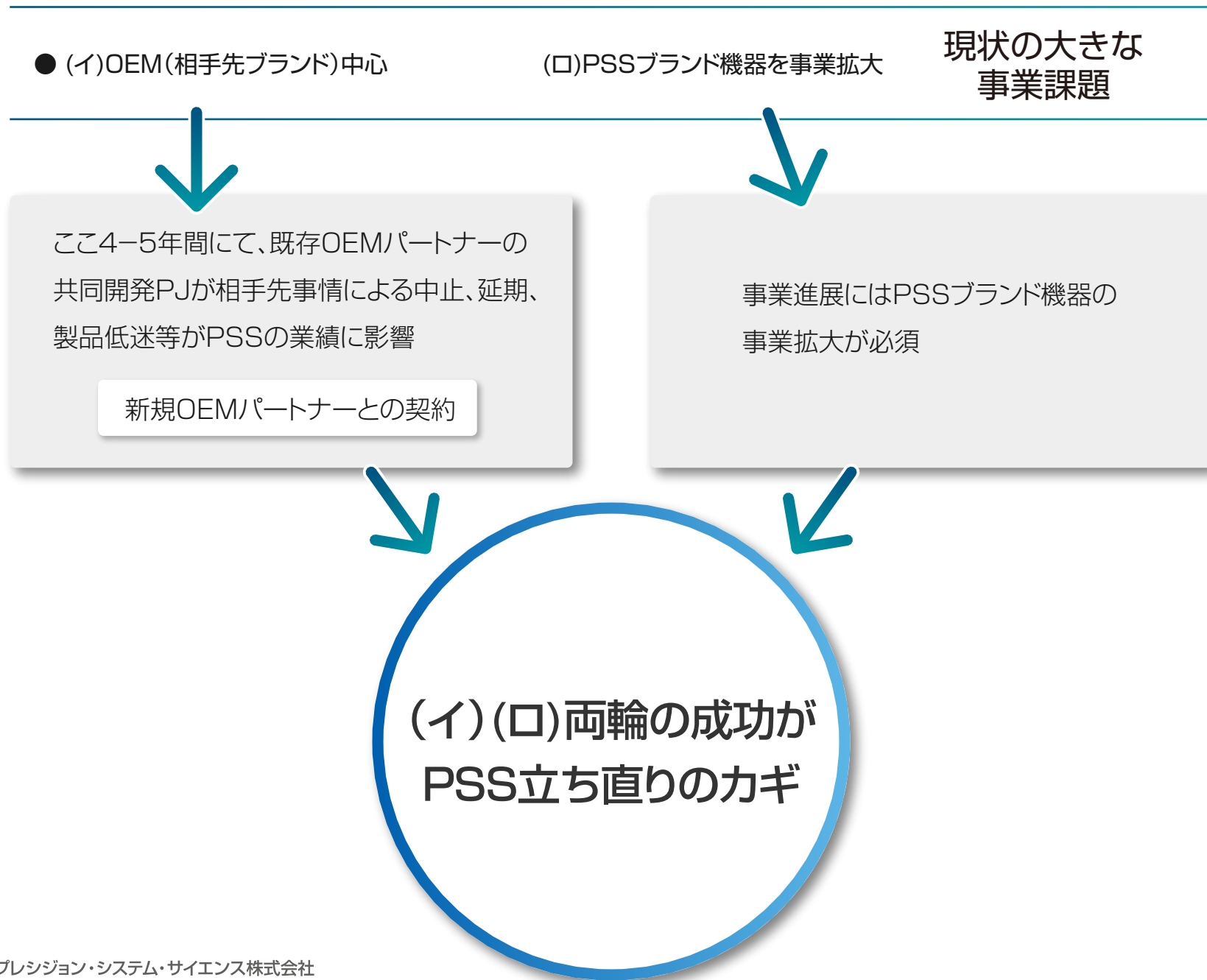
課題		成否
事業領域	テーマ	
● サンプルプレパレーション自動化 (測定のためのサンプル処理、DNA抽出もその1つ)	測定技術と一体化した全自動化	成功
● 研究開発エリア	臨床・医療エリアへの参入	成功
● 機器中心	機器+試薬、統合事業進展	成功
● 開発中心	機器、試薬の製造施設を設立	成功

● (イ)OEM(相手先ブランド)中心

(ロ)PSSブランド機器を事業拡大

**現状の大きな
事業課題**

1. 事業報告及び事業方針 PSS の対処すべき経営課題



1. 事業報告及び事業方針 PSS の対処すべき経営課題

Bio-system開発型ベンチャーとして成功するためのもう1つのコマ

独自営業力の強化

- ✓ 営業人材の確保・組織の確立
- ✓ W/W 30か国ディストリビューター選定・契約
- ✓ PSSブランド製品の品揃え
 - A MagLEADシリーズ、geneLEADシリーズ、MagDEA試薬
 - B PreLEADシリーズ、LeaDEA AMP試薬
 - C 既開発要素技術による安価、迅速なさらなる製品充実、上市

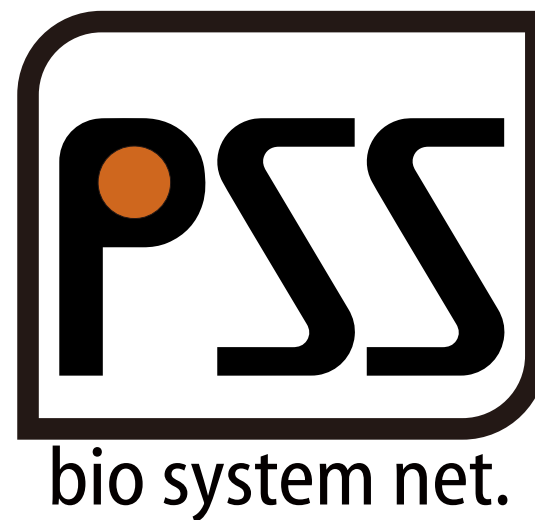


OEM年間1,000台 + 新規OEM、試薬、PSSブランド年間1,000台
の中期目標設定



社名ロゴの刷新

1. 事業報告及び事業方針 PSS の対処すべき経営課題



PSSの事業の可能性

① PSSブランド製品の直接販売

- magLEAD ■ geneLEAD ■ PreLEAD
- MagDEA ■ LeaDEA

② PSSの技術を活用した共同製品開発

- SpeLIA II ■ BioMighty ■ 電気泳動システム ■ geneLEADMegaMax

③ 国家プロジェクト参画による基礎技術開発

- 体液中miRNA測定技術
- 重症薬疹(SJS/TEN)の投薬前診断技術の開発
- 長鎖DNA(人工ゲノム)合成技術の開発
- 糖鎖解析システムの開発
- 全自動デジタルELISA装置の開発
- 高生産性微生物創製に資する情報解析システムの開発

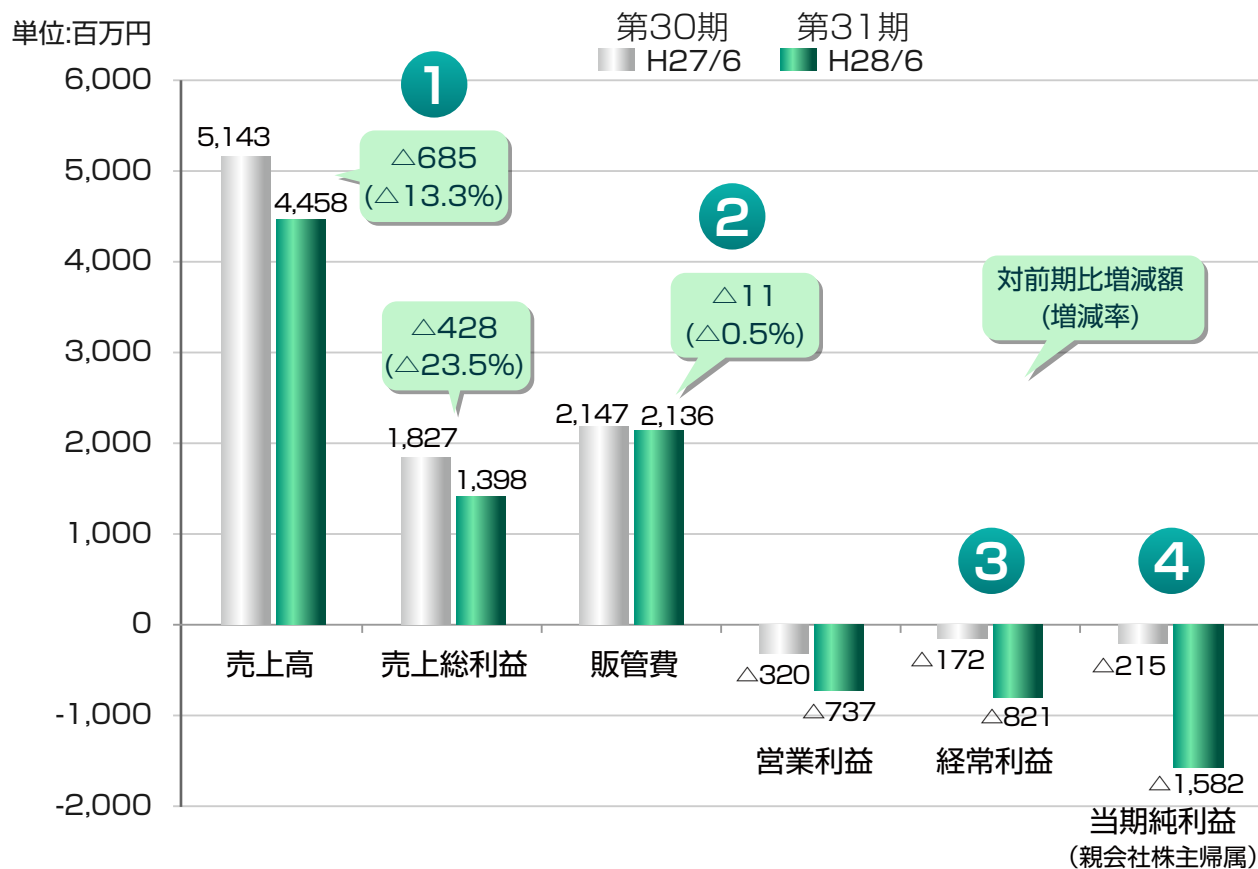
④ PSSの機器、独自試薬を一体化した大型OEM、代理店契約締結

第31期決算（平成28年6月期）と 第32期（平成29年6月期）の見通し

1. 事業報告及び事業方針 第31期業績と第32期見通し

第31期(H28/6)連結業績

- 連結業績は、前期比減収減益となりました。
- 事業計画の見直しにより、固定資産に係る減損損失を特別損失に計上しました。



第30期 (H27/6) 業績比

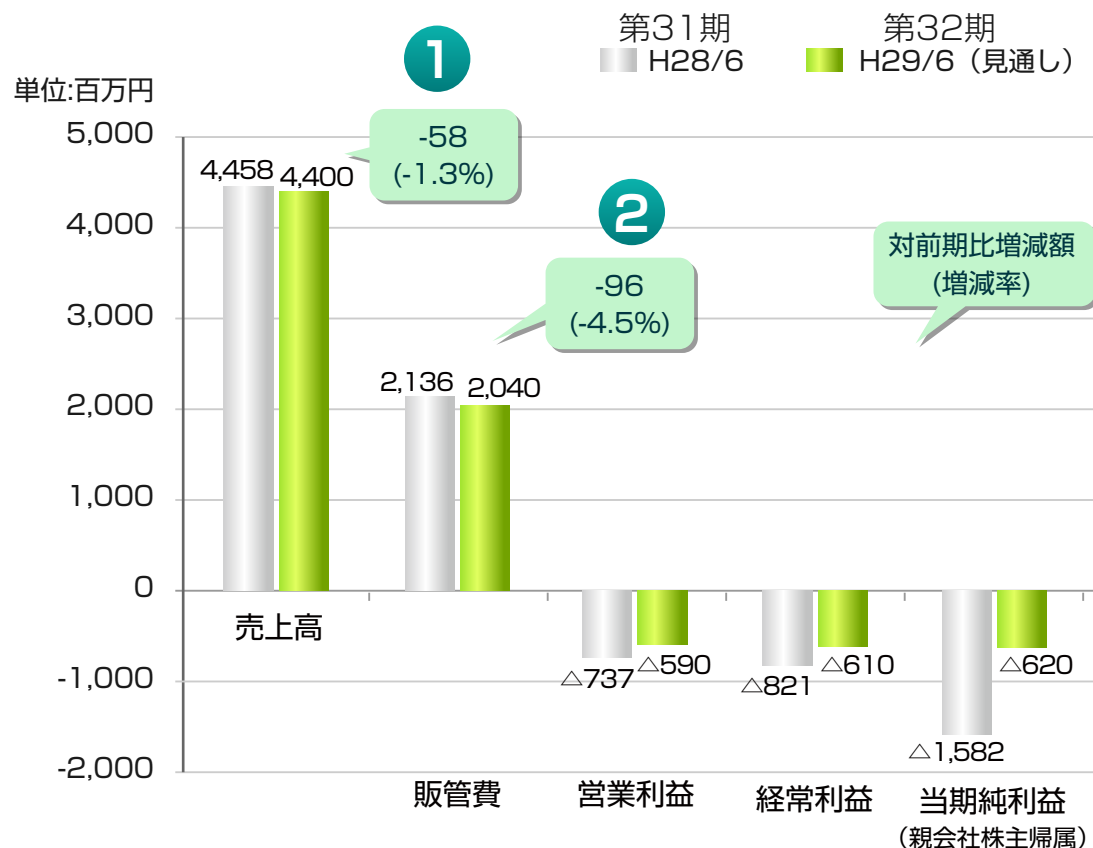
- ▶ **売上高の減収及び総利益の減益**
 前年同期のエボラ出血熱検査特需や大きな開発売上、更にはOEM契約締結に伴う手数料収入のような増収要因がなかったこともあり、前期比では減収となりました。
- ▶ **販管費は前期並み**
 積極的な開発費支出777百万円(前期比2.2%減)を実施したこと等により、前期並みとなりました。
- ▶ **為替差損の計上**
 円高による影響により為替差損90百万円が発生しました。
- ▶ **特別損失(減損損失)の計上**
 当社グループの取引先のうち、大手OEM先の一部において、売上拡大に大きく寄与するものとして期待しておりました案件について、その販売見通しについて大幅な延期となり、かつ現時点においては再開の時期が不透明となったため、当社グループが保有する固定資産(土地、建物、生産設備など)について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失908百万円を特別損失に計上しました。

1. 事業報告及び事業方針 第31期業績と第32期見通し

第32期(H29/6)通期見通し

■ 引き続き赤字となる見通しではありますが、当社グループといたしましては、リストラや開発費の削減による黒字化を目指すのではなく、geneLEADシリーズを中心とした遺伝子診断分野への事業展開を図ることで、業容拡大による2～3年後の黒字化を目指します。
(なお、為替の見通しは、1ドル=100円、1ユーロ=110円にて算定しております。)

第31期(H28/6)業績比



▶ 売上高対前期比ほぼ横ばい

一部のOEM先の販売において減少を見込んだ一方、エリテック社向けの全自動遺伝子診断装置の市場投入が進んでいること、それに搭載するDNA抽出試薬とあわせ増収を見込むとともに、近年注力してまいりました自社販売拡大による増収を見込んでいます。

▶ 販管費対前期比削減

引き続き積極的な研究開発投資795百万円(前年同期比2.3%増)を行うものの、第31期(平成28年6月期)の減損損失の計上に伴う減価償却負担の低減効果やその他の経費削減努力を見込んでいます。

PSS 中期事業計画

1. 事業報告及び事業方針 中期事業計画

1-1 中期事業計画

■ 経営重要課題に対応すべく記にて機構改革および役員人事異動を実施しました。(平成28年7月1日)

氏名	新職	前職
秋本 淳 (アキモト ジュン)	PSS 常務取締役 PSS 大館試薬センター長 NPS 代表取締役社長	PSS 常務取締役 PSSキャピタル(株) 代表取締役社長 ジェネティン(株) 代表取締役社長
古川 昭宏 (フルカワ アキヒロ)	取締役 事業推進本部長	取締役 営業本部長
上田 哲也 (ウエダ テツヤ)	取締役 LSM(ライフサイエンス&メディカル) 事業本部長	取締役 診断システム開発本部長

1. 事業報告及び事業方針 中期事業計画

1-2 中期事業計画

プレスリリース「子会社エヌピーエス株式会社の株式追加取得に関するお知らせ」

(平成28年6月27日)

これまで、PSSは平成24年7月31日に安定的な生産管理体制の確立と製造コスト削減を図るために、NPSの発行済み株式の51%となる81,600株を取得していました。

このたび更なる品質管理を含めた生産管理体制強化と製造コスト削減を加速すべく、発行済み株式78,400株を取得価額202百万円での追加取得を行い、PSSの株式所有割合は100%となりました。



PSSと一体となり、生産ラインの増強と省力化を推進し、将来の増産に備えるとともに、外注先の工場と協力し、製品コストダウンに注力していく所存です。

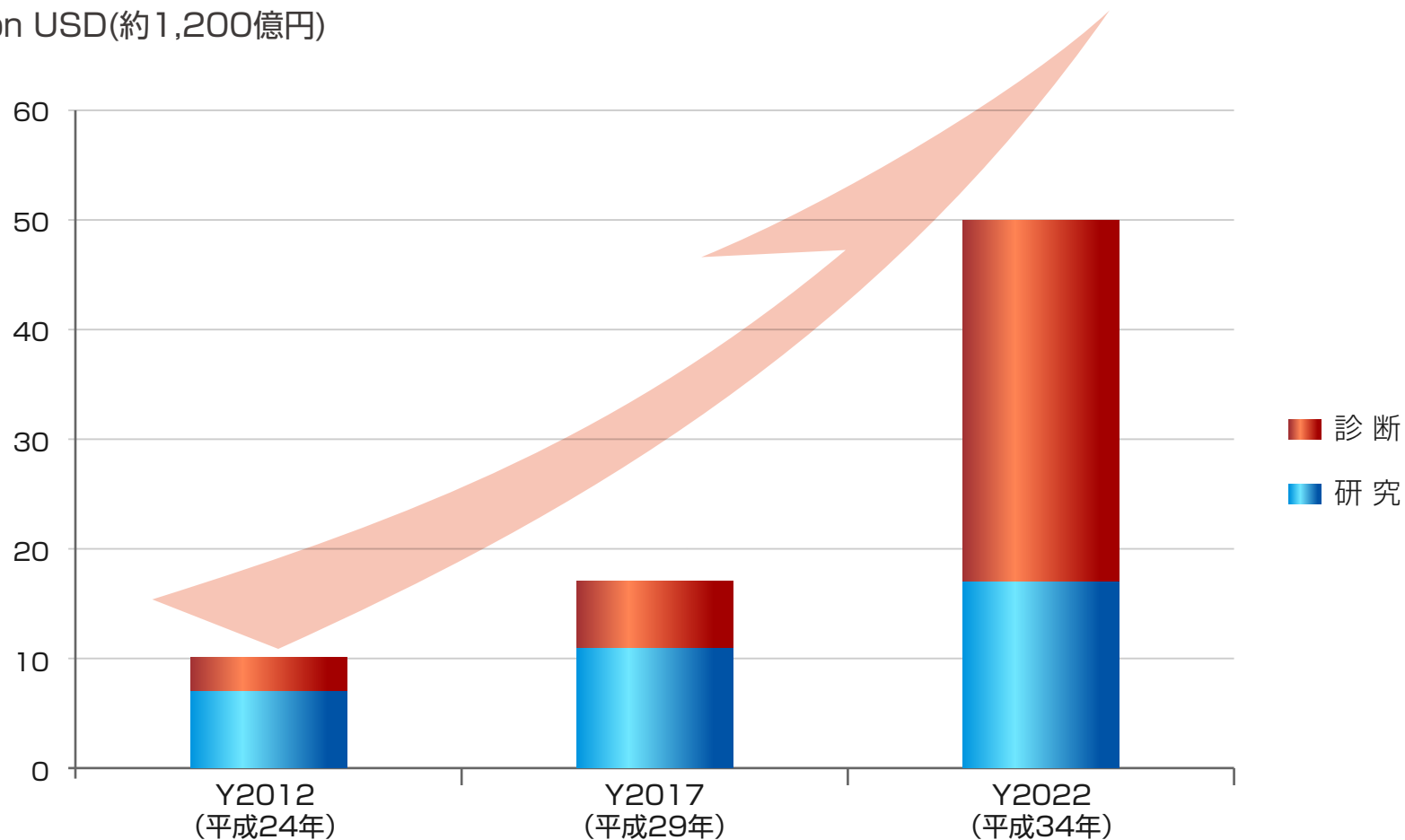
1. 事業報告及び事業方針 中期事業計画

2-1 分子診断市場の動向 (市場トレンドの変化)

■ 遺伝子診断市場の利用目的が、臨床研究から診断用途向けに変化のトレンドを示しています。

しかしながら、臨床研究市場も着実な成長市場です。

単位: Billion USD (約1,200億円)



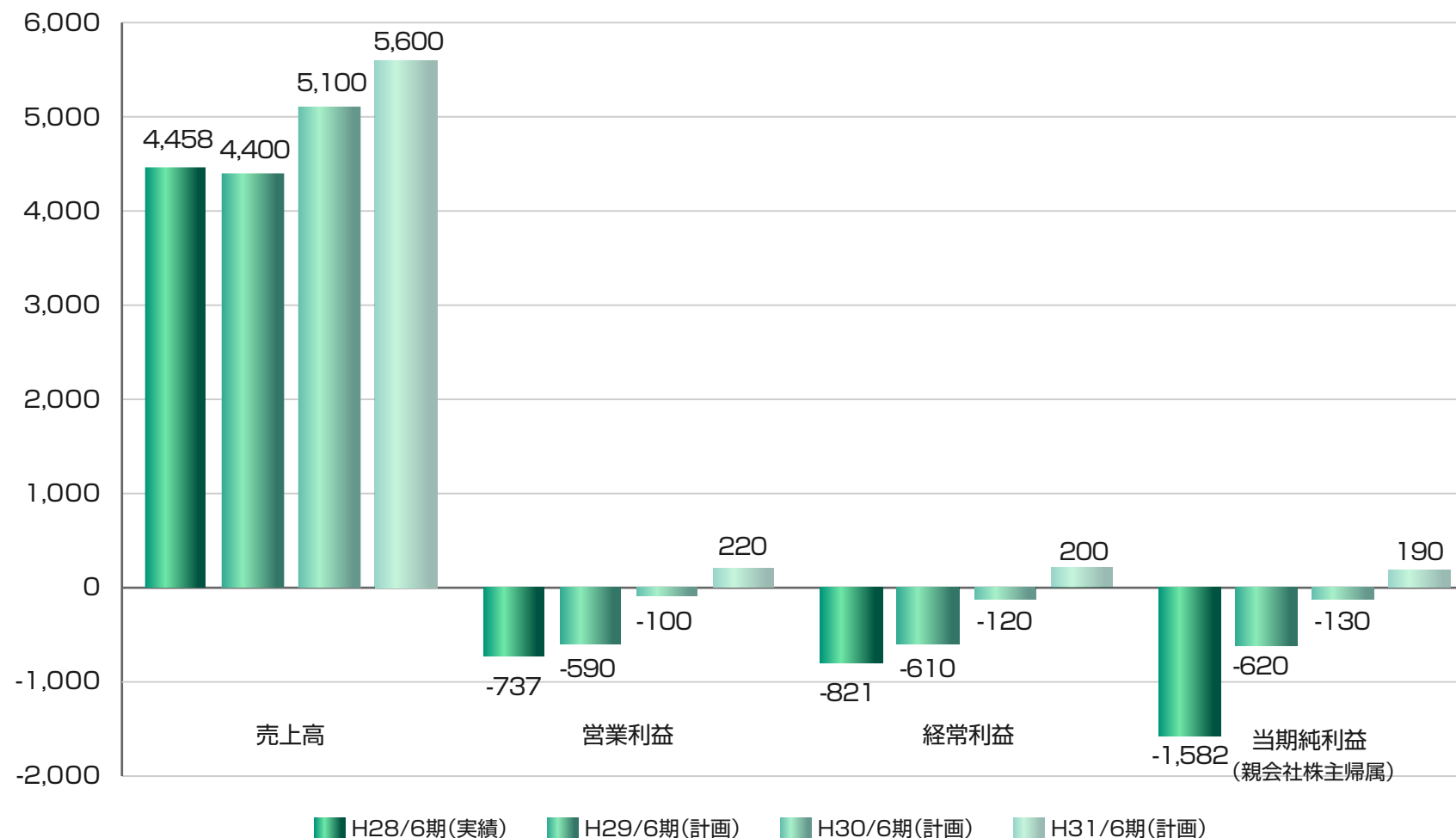
Jain PharmaBiotech, "Molecular Diagnostics" , July 2013

1. 事業報告及び事業方針 中期事業計画

2-2 中期事業計画(損益計画)

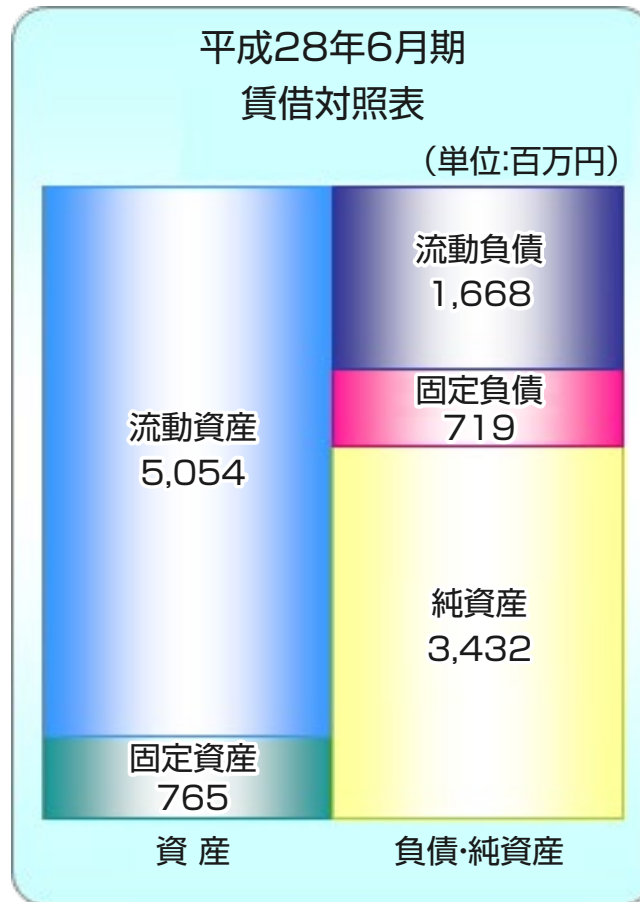
■ 売上は3年間で約25%の増加を計画し、H31/6期より業績黒字化を計画しています。

単位:百万円



2. 報告事項(計算書類)

2. 報告事項（計算書類）



詳しくはお手もとの招集ご通知 22～40ページをご覧ください。

3. 決議事項

3. 決議事項

■ 議案

・取締役6名選任の件

お手もとの招集ご通知 45～46ページをご覧ください。

第31回定時株主総会

平成28年9月27日

本日は、PSSの第31回定時株主総会にご参加を頂きまして、誠に、ありがとうございます。今後とも、ご理解、ご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本資料には、当社の計画と見通しを反映した将来予測に関する記述を含んでおります。これらは、本資料作成時において、入手可能な情報に基づいた予想値であり、潜在的なリスクや不確実性が存在しています。そのため、本資料に記載されている将来見通しが、実際の業績と大きく異なる場合があることを、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

平成28年9月27日
プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
URL: www.pss.co.jp

(お問い合わせは、IR・社長室まで)
電話: 047-303-4800
メール: ir@pss.co.jp



Precision
System
Science
Co., Ltd.